

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名 放課後等デイサービスはなぞの

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12				
	2 職員の配置数は適切である	12				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12			トイレや手洗い場に手すりを設置。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12			担当職員を中心に職員全員で検討会を設け改善と計画の繰り返しを毎月行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12				保護者のご意見を有難く受け止め改善して丁寧に対応していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12			ホームページに公表。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている					
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12			研修動画サイトを活用。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12			相談員と情報交換したり、リタリコ発達ナビのアセスメント整理リストや沖縄県のサポートノートえいぶるを活用。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1		リタリコ発達ナビのアセスメント整理リストを活用。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	12				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	1		複数の活動を用意し、個々の状況に応じてチャレンジ意欲が高まるような声掛けを行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12			事前にミーティングで計画検討を行う。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	2		送迎前に、送迎担当や一日の活動内容、注意事項等をミーティングにて話し合っ共通理解を深めている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2		勤務時間内や送迎後・支援後に打合せをできなかった分は翌日の午後のミーティングで送りとして行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	12					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/		現在は在籍なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	12				卒業前に特性に合った対処法を提供し、卒業後も安定した生活が送れるようにサポートを続けている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	12				
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	3			会員ですが、コロナ渦で事業所の参加人数を制限しているとのことだった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	4		一人ひとりに合った支援方法を保護者と一緒に考えていきたい。参考資料の配布や提案をしていきたい。	保護者会を開催することで保護者同士の交流を深めていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	7			保護者会の開催を予定していましたが、悪天候のため中止となった。次年度は複数回行えるよう検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12				
	35	個人情報に十分注意している	12				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	3			地域開催のお祭りでダンスや合奏を発表しました。育てた野菜を地域の方に配り、交流を深めている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12			非常食を用いたおやつ作りなど	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12			研修動画サイトを活用	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	3			基本身体拘束は行いません。安全に配慮して、痙攣する前に気持ちをリフレッシュするクールダウンタイムを設けて、身体拘束をしなくても切り替えられる事前の支援を大切に行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2		2名以上の職員で提供の確認を行う。また代用品等を準備	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	1		作成し、検討会を開き次の事故を回避できる対応を共有する。危機管理能力を育てる研修を行う。	